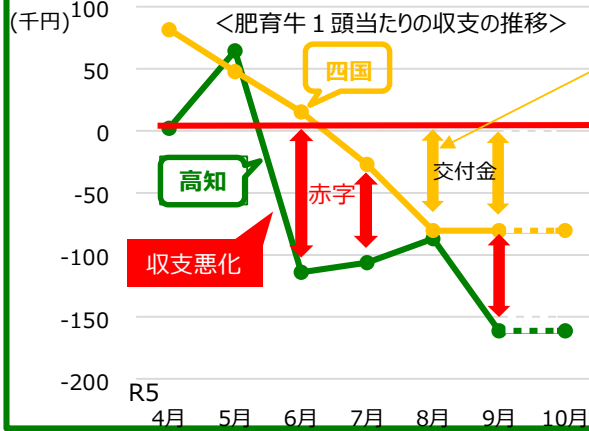


土佐和牛肥育経営体質強化緊急支援事業委託料

現状

- ☆ 飼料価格の高騰により肥育牛1頭当たりの**生産コストは増加**
- ☆ 物価高に伴う買い控えにより和牛枝肉の需要減→**粗収益が減少**
- ☆ **県内肥育農家の収支は悪化**しているものの、国のセーフティネットは四国ブロック単位で算定・交付されるため、**高知県の実態とズレ**



国のセーフティネット

肉用牛肥育経営安定交付金制度 (牛マルキン)
粗収益が生産コストを下回った場合、差額の9割を交付

牛マルキンによる交付金を加味しても、R5.4~9月は1頭当たり平均**6.8万円の赤字**物価の上昇により、小売り向けの和牛肉の引き合いが弱まっていることから、**今後も赤字の収支が続く見込み**

対策

- ☆ 経営体質強化のためには、**飼料価格高騰等の影響を受けにくい肥育経営への構造転換が必要!**

頑張るぞ



- 構造転換の実現のため、**飼料コスト削減**や**生産性向上**に資する下記のメニューから選択し、それぞれ**5%以上の改善**に取り組む土佐和牛肥育農家の経営を時限的に下支え

飼料コスト削減

国産飼料給与量の増加

配合飼料給与量の削減

から1つ以上

収益性向上

D×化

生産効率の向上

G×化

作業効率の見直し

飼養品種の多様化

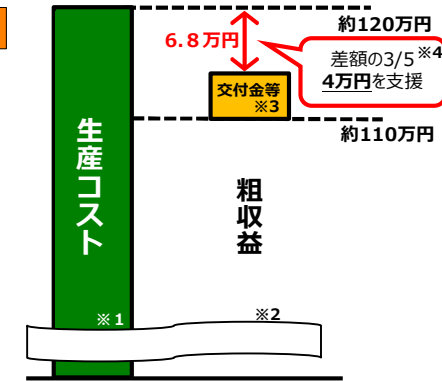
から1つ以上



支援内容

- 支援期間：R5年10月～R6年3月
- 支援内容：牛マルキンに個体登録済みの肉用牛（黒毛和種）の販売頭数に応じて、1頭当たり40千円を交付
- 事業費：14,274千円
40千円/頭×336頭 = 13,440千円
事務委託料ほか 834千円
- 委託先：(一社) 高知県肉用子牛価格安定基金協会

<支援金単価の考え方>



- ※1：R5年4~9月の県内肥育牛生産コスト
- ※2：R5年4~9月の粗収益
- ※3：牛マルキン交付金+県配合飼料支援金
- ※4：牛・豚マルキンでの補てん率9割×国費3/4=3/5

課題

- ☆ 肥育農家は生産コストの増加と枝肉販売収入の減少というダブルパンチを受けており、収支の悪化により、**肥育用の子牛導入意欲が減少**→**肉用子牛価格も下落**
- ☆ 繁殖農家の経営悪化→**肉用牛繁殖基盤の縮小**

